

2012年3月期 決算説明会

東京製綱株式会社

(TOKYO ROPE MFG. CO., LTD.)

2012年5月31日

目次

2012年3月期 決算の概要

2013年3月期 見通し

次期中期経営計画（TCT-II）

2013/3期 ～ 2014/3期

**「事業構造改革による収益力の回復と
トータル・ケーブル・テクノロジー企業への基礎固め」**

2012年3月期 決算の概要

2013年3月期 見通し

次期中期経営計画(TCT-II)

2013/3期 ~ 2014/3期

「事業構造改革による収益力の回復と
トータル・ケーブル・テクノロジー企業への基礎固め」

2012年3月期 決算ポイント

太陽光関連製品の事業環境悪化により大幅減益

売上高 763億70百万円 [前期比 +6.2%]

前年度大量受注したワイヤソーの売上が寄与

営業利益 7億51百万円 [前期比△78.3%]

ソーワイヤ・タイヤコードの事業環境悪化が響き大幅減益

当期純利益 △33億74百万円 [前期比 -]

事業構造改革費用35億円計上などによる

2012年3月期 決算ハイライト

(単位:百万円)

	11/3	売上高比	12/3	売上高比	前期比	
売上高	71,887	—	76,370	—	+4,483	+6.2%
営業利益	3,463	4.8%	751	0.8%	△2,712	△78.3%
経常利益	3,054	4.2%	383	0.2%	△2,671	△87.4%
当期純利益	765	1.1%	△3,374	△4.3%	△4,139	—

セグメント別の状況（売上高）

鋼索鋼線：エレベーターロープ、繊維ロープを中心に増収

スチールコード：ワイヤー増収、ソーワイヤ・タイヤコードで減収

その他：石油関連製品を中心に増収

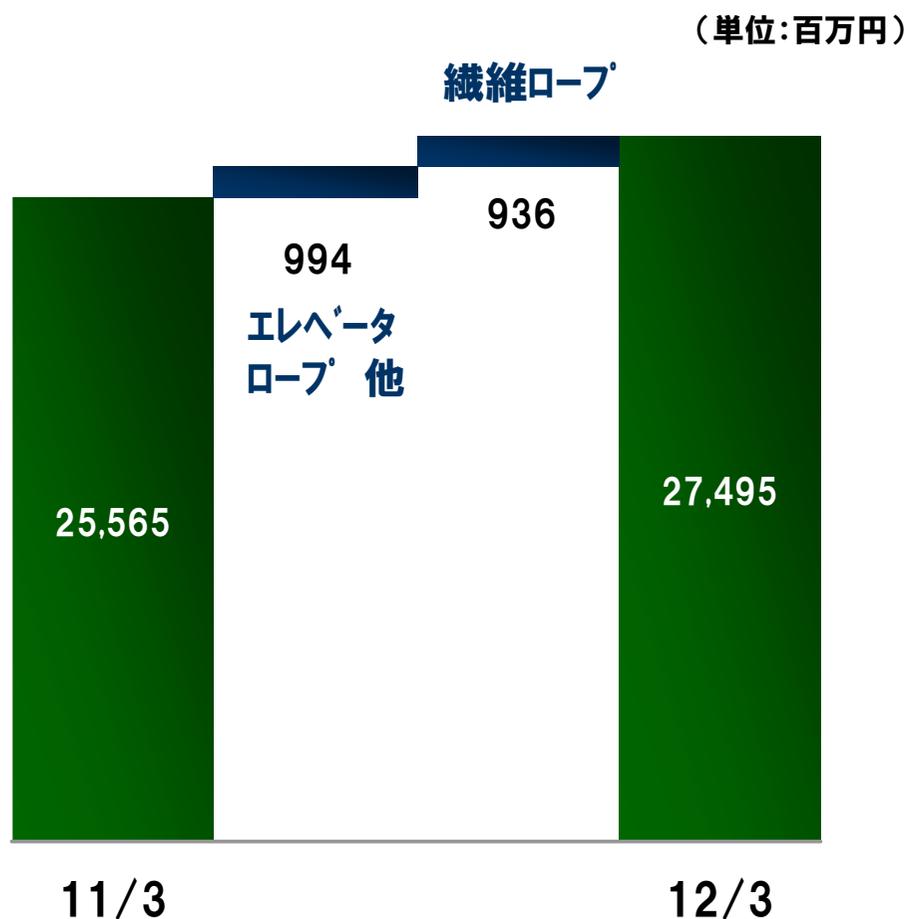
（単位：百万円）

	11/3	構成比	12/3	構成比	前期比	
鋼索鋼線	25,565	35.6%	27,495	36.0%	+1,930	+7.5%
スチールコード	24,108	33.5%	26,047	34.1%	+1,939	+8.0%
開発製品	13,075	18.2%	12,675	16.6%	△400	△3.1%
不動産	1,230	1.7%	1,171	1.6%	△59	△4.8%
その他	7,909	11.0%	8,980	11.8%	+1,071	+13.5%
合計	71,887	100.0%	76,370	100.0%	+4,483	+6.2%

増減要因分析（売上高）

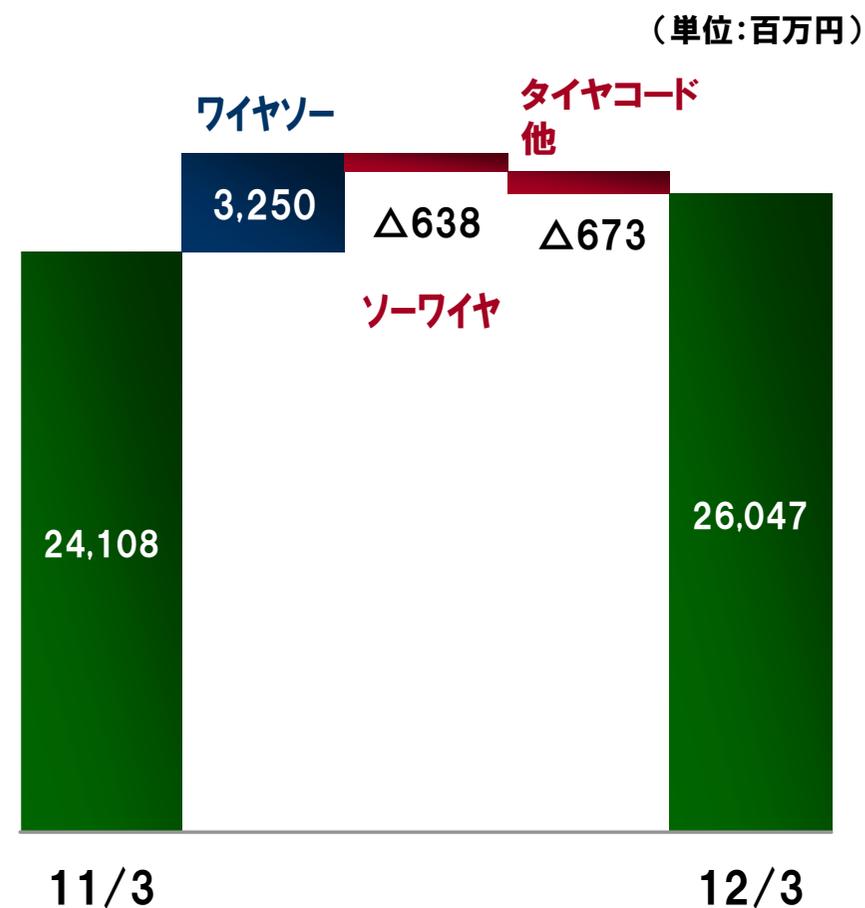
鋼索鋼線

ロープ・ワイヤ、繊維ロープ



スチールコート

タイヤコード、ソーワイヤ、ワイヤソーなど



セグメント別の状況（営業利益）

**スチールコード：震災影響やソーワイヤの販価下落による
大幅な減益**

鋼索鋼線：エレベーターロープ、繊維ロープ増収に伴う増益

（単位：百万円）

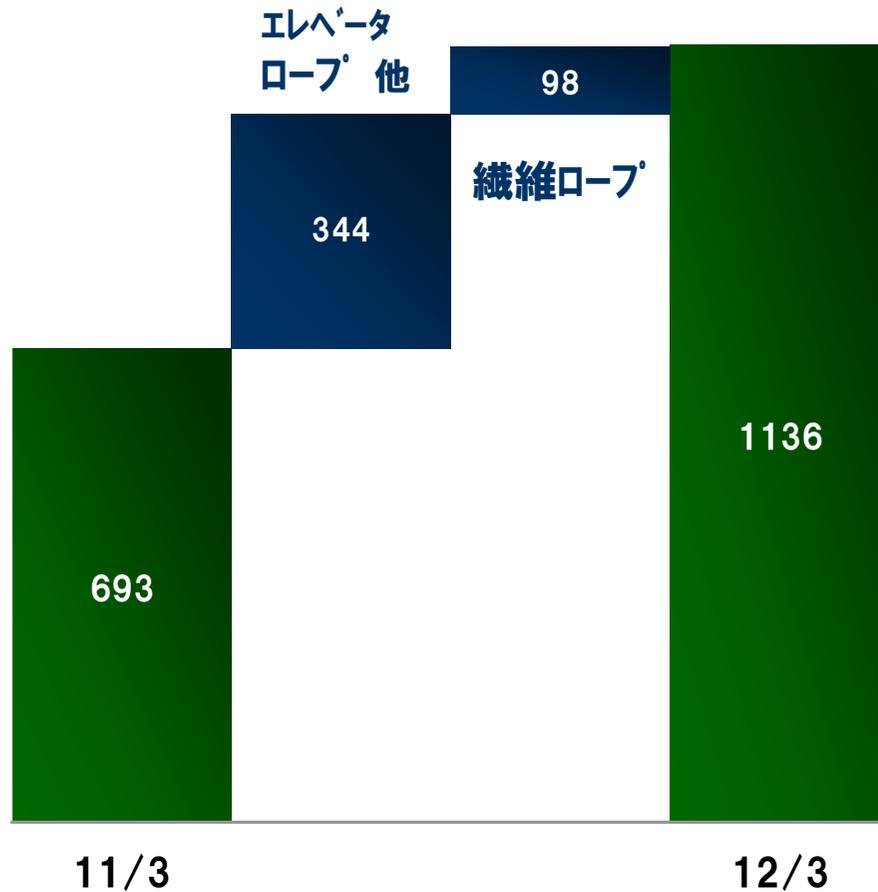
	11/3	構成比	12/3	構成比	前期比	
鋼索鋼線	693	20.0%	1,136	-	+443	+63.9%
スチールコード	1,642	47.4%	△1,289	-	△2,931	-
開発製品	250	7.2%	△65	-	△316	-
不動産	606	17.5%	503	-	△103	△17.0%
その他	269	7.8%	466	-	+197	+73.2%
合計	3,463	100.0%	751	-	△2,712	△78.3%

増減要因分析（営業利益）

鋼索鋼線

ロープ・ワイヤ、繊維ロープ

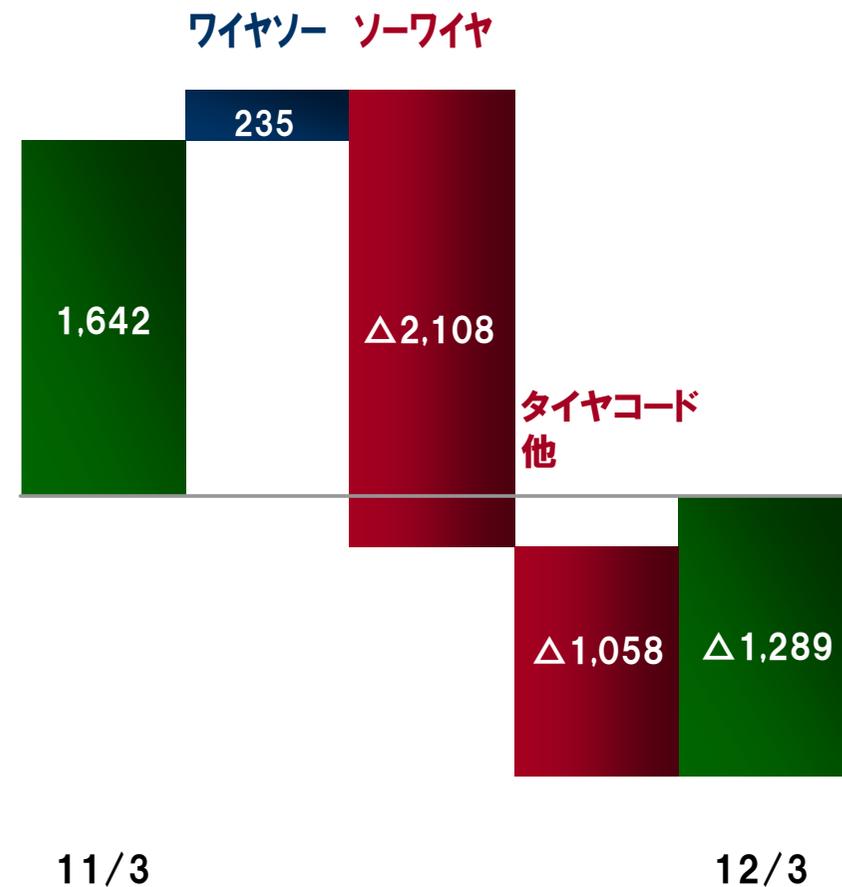
（単位：百万円）



スチールコート

タイヤコード、ソーワイヤ、ワイヤソーなど

（単位：百万円）



キャッシュ・フロー

**営業活動：昨年大量受注したワイヤーの製作費支払い等
 運転資金所要増**

投資活動：海外事業所での設備投資が中心

財務活動：短期借入金の借入増が中心

(単位:百万円)

	11/3	12/3
現金及び現金同等物の期首残高	1,645	3,480
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,757	△4,332
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,375	△5,521
フリー・キャッシュ・フロー	5,382	△9,853
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,433	7,654
現金及び現金同等物の期末残高	3,480	1,822

2012年3月期 決算の概要

2013年3月期 見通し

次期中期経営計画（TCT-II）

2013/3期 ～ 2014/3期

「事業構造改革による収益力の回復と
トータル・ケーブル・テクノロジー企業への基礎固め」

2013年3月期 見通し

スチールコード事業立直し途上で、最終損益赤字の見通し

売上高 : 760億円 (前期比 Δ 0.5%)

営業利益 : 4億円 (前期比 Δ 46.5%)

	12/3 実績	売上高比	13/3 見通し	売上高比	前期比	
売上高	76,370	—	76,000	—	Δ 370	Δ 0.5%
営業利益	751	1.0%	400	0.5%	Δ 351	Δ 46.7%
経常利益	383	0.5%	100	0.1%	Δ 283	Δ 74.0%
当期純利益	Δ 3,374	—	Δ 1,000	—	+2,374	+70.4%

(単位:百万円)

2013年3月期 見通し（セグメント別）

売上高 | スチールコード落込みの影響で微減

スチールコード：ワイヤー減収、ソーワイヤ価格低迷継続

開発製品：橋梁受注増、道路新商品も寄与し大幅増収

	12/3 実績	構成比	13/3 見通し	構成比	前期比	
鋼索鋼線	27,496	36.0%	27,500	36.2%	+4	+0.0%
スチールコード	26,048	34.1%	23,500	30.1%	△2,548	△9.8%
開発製品	12,675	16.6%	14,800	19.5%	+2,125	+16.8%
不動産	1,171	1.6%	1,200	1.6%	+29	+2.5%
その他	8,981	11.7%	9,000	11.8%	△19	△0.2%
合計	76,370	100.0%	76,000	100.0%	△370	△0.5%

(単位:百万円)

2013年3月期 見通し(セグメント別)

営業利益 | スチールコード大幅悪化により減益

鋼索鋼線はコスト改善、開発製品は拡販により増益

スチールコードは収益改善推進も、環境悪化の影響により損失拡大

	12/3 実績	構成比	13/3 見通し	構成比	前期比	
鋼索鋼線	1,136	-	1,400	-	+264	+23.2%
スチールコード	△1,290	-	△2,150	-	△860	△66.7%
開発製品	△66	-	300	-	+366	-
不動産	503	-	400	-	△103	20.5%
その他	467	-	450	-	△17	3.6%
合計	751	-	400	-	△351	46.7%

(単位:百万円)

2013年3月期 主要製品見通し

鋼索鋼線関連事業

エレベータ用ロープ好調も繊維ロープ減で、販売量前年度並み

スチールコード関連事業

タイヤコード(国内):前年度の震災逸注分を回復し、販売量増加

タイヤコード(海外):マレーシアで生産開始予定

ソーワイヤ(国内):販売量激減、生産能力削減

ソーワイヤ(海外):数量増、但し昨年央から下落した価格は低迷継続

ワイヤソー:年度後半から徐々に受注回復

開発製品関連事業

橋梁、道路(新商品)、CIS諸国向け拡販により増収増益

2012年3月期 決算の概要

2013年3月期 見通し

次期中期経営計画（TCT-II）

2013/3期 ～ 2014/3期

**「事業構造改革による収益力の回復と
トータル・ケーブル・テクノロジー企業への基礎固め」**

『新中期経営計画』TCT-II

基本方針・目標数値

1. 生産構造の抜本的改革による収益力回復
2. 『トータル・ケーブル・テクノロジー』企業への基礎固め

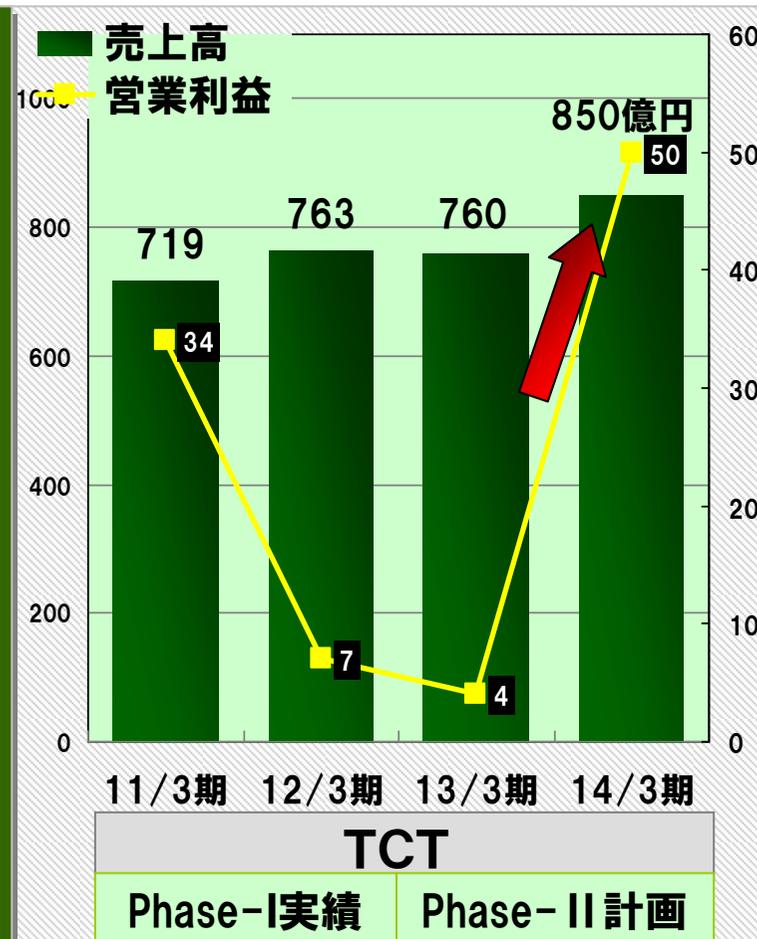
【経営目標数値】（連結ベース）

	ステップアップ8・7 09/3～10/3期 実績（平均）	TCT-I 11/3～12/3期 実績（平均）	TCT-II 14/3期 （目標）
売上高	770億円	740億円	850億円以上
経常利益率	3%	2%	5%以上

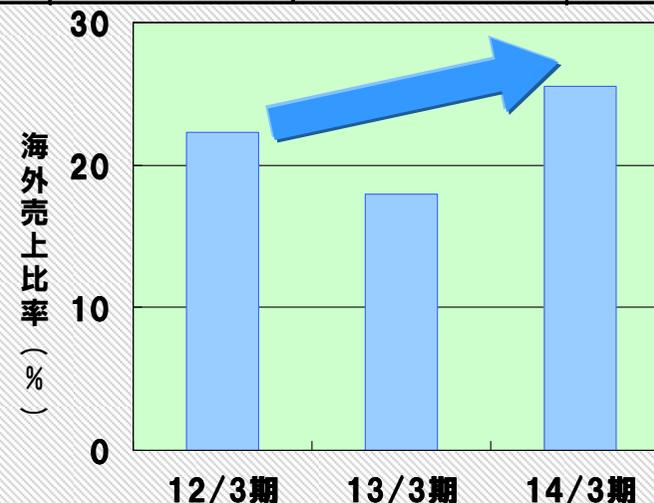
「TCT-II」売上高・損益計画

13/3期: SC事業立直し途上(他事業部がこれをカバー)

14/3期: 営業損益で対前年度比+46億円を計画



(単位:億円)	【TCT-II】損益計画		
	12/3期実績	13/3期計画	14/3期計画
売上高	763	760	850
営業利益	7	4	50
経常利益	3	1	45
当期純利益	-33	-10	31



『新中期経営計画』主要施策

1. 生産構造の抜本的改革による収益力回復

主要施策(1) : スチールコード事業の構造改革

**主要施策(2) : 全事業部における徹底的な収益
対策の実行**

主要施策(3) : 既存商品・新商品の拡販



収益のV字回復を実現

『新中期経営計画』主要施策

2. 『トータル・ケーブル・テクノロジー』企業への基礎固め

主要施策によって捻出した資金を、
炭素繊維複合材ケーブル(CFCC)・
オフショア事業等、今後の当社成長戦略を
担う商品開発に投資

※長期的且つ継続的な成長を目指す

事業構造の転換

収益回復のシナリオ【営業利益 増減要因・施策】

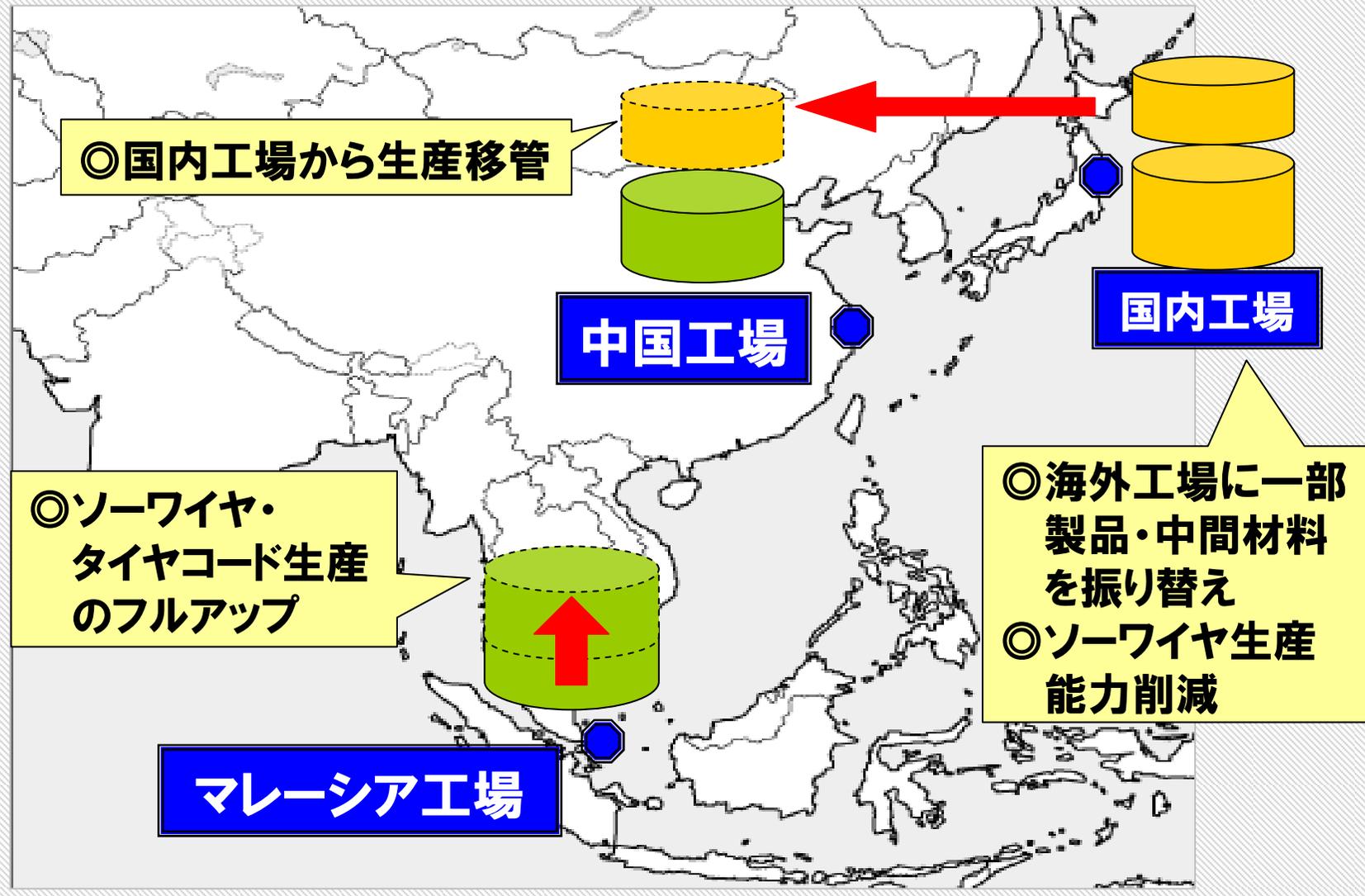
※2年間で43億円相当の収益改善を計画

単位:億円

	12/3期	13/3期	14/3期	中期累計
営業利益	7 →	4 →	50	-
増減額	×	3	○46	○43
環境悪化の継続	↑ ×	↑ ○ 5	↑ ○ 5	↑ ×
収益改善施策効果等	+	+	+	+
(1) スチールコード事業部構造改革効果	○20	○41	○41	○61
(2) 生産性向上、外部調達コスト削減	○10	○ 5	○ 5	○15
(3) 既存・新商品の拡販	○ 7	○18	○18	○25
その他	○ 5	○12	○12	○17
	×	2	○ 6	○ 4

(1) スチールコード事業の構造改革

海外拠点への生産シフト・生産体制最適化



(1) スチールコード事業の構造改革

構造改革に伴う費用と効果

2年間で15億円の固定費削減を計画

事業構造改革費用

12/3期: 特別損失35億円計上

**13/3期: 人員合理化に伴い、特別損失9億円が
発生する見通し**

(2) 全事業部における収益対策の実行

外部調達コスト削減、生産性向上、現場力復興

2年間で25億円の収益改善を計画

(ア) 外部調達コスト削減

◎線材・諸資材の輸入調達拡大

(イ) 生産性向上

◎省力化(省力化投資促進)、外注合理化等

◎成功事例の水平展開

(ウ) 現場力復興

◎工場歩留まり改善

◎原単位改善・修繕費圧縮

(3) 既存商品と新商品の拡販

① 鋼索鋼線

国内景気：復興需要に牽引され緩やかに成長



◎復興需要の捕捉

(被災地及び復興関連産業への丹念な営業活動を継続)



【復興需要関連商品】

- ・海上クレーン用ワイヤロープ
- ・建設機械用ワイヤロープ
- ・PC鋼線(ポール・パイル材料)、等

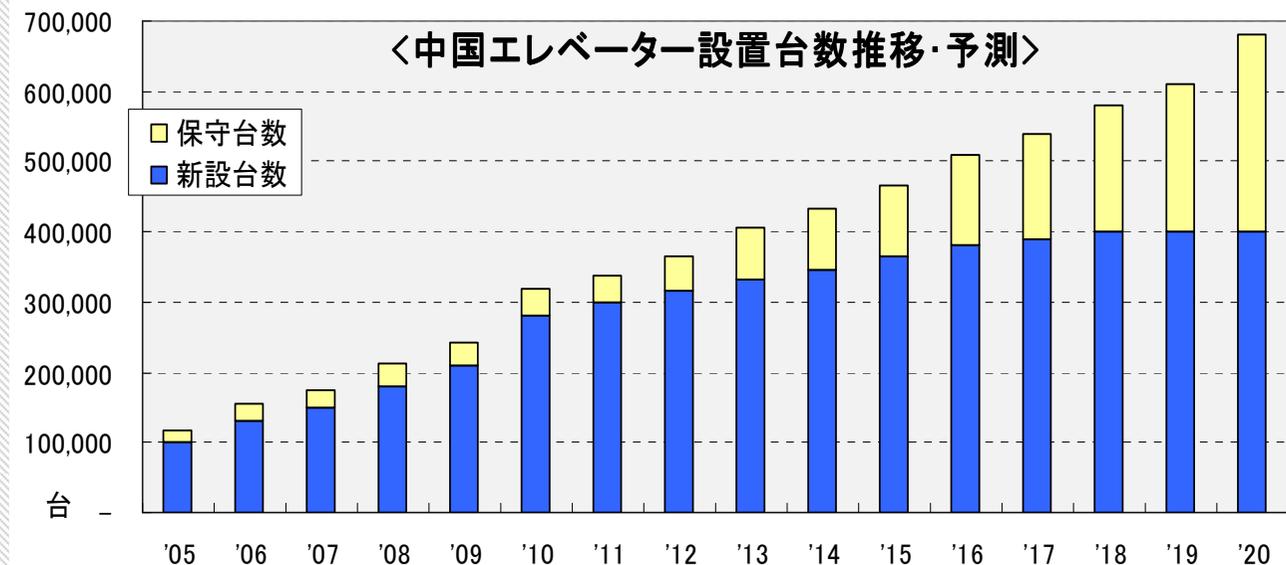
(3) 既存商品と新商品の拡販

① 鋼索鋼線 (続)

◎大手電線メーカー等の重要顧客と戦略共有し、顧客ニーズに基づいた海外展開

◎増加する中国エレベータ用ワイヤロープ市場 捕捉(ベトナム工場、生産能力増強中)

※飛躍的に増加する中国エレベータ需要 (当社推定)



(3) 既存商品と新商品の拡販

② スチールコード

◎ 新商品の市場投入

(ア) 高強度タイヤコード

(イ) 高強度ソーワイヤ、ダイヤモンドワイヤ

(ウ) 新型ワイヤソー

(3) 既存商品と新商品の拡販

③ 開発製品

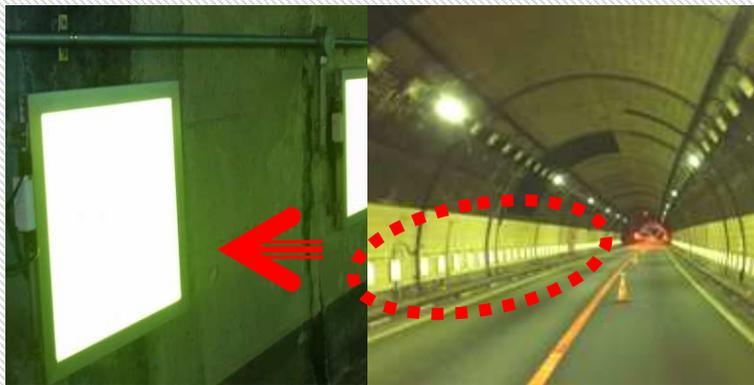
◎ 新商品の市場投入

(ア) 道路施設の拡販…e-stream、デガルト、
簡易中央分離帯ガードケーブル、他

(イ) 法面…高エネルギー落石防護製品

高エネルギー
落石防護製品
(開発実験)

e-stream



デガルト



(3) 既存商品と新商品の拡販

③ 開発製品(続)

◎ ロシア・CIS諸国

新規需要先(ウラル鉄道、カザフスタン鉄道)向け拡販

◎ 大型橋梁ケーブルル案件

◎ 震災復興需要



落石対策工事現場:ウラジオストック
(密着型安定ネット)

成長エンジンの創出に向けた取組み

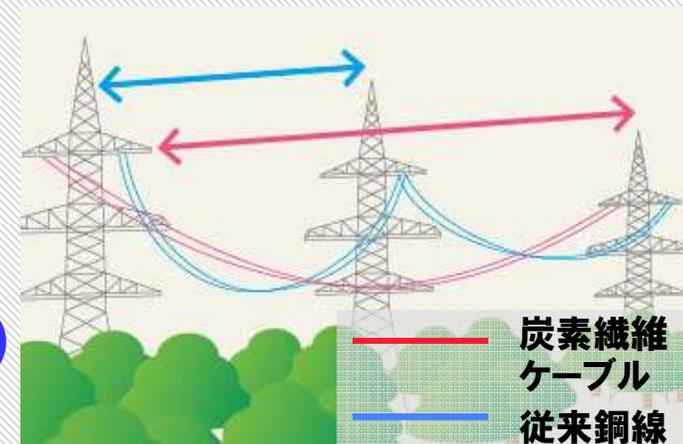
炭素繊維複合材ケーブル(CFCC)

①中国事業(送電線用)

◎CFCCを使用した電線を、中国
専門委員会が承認

(増容量送電線需要: 数万km/年)

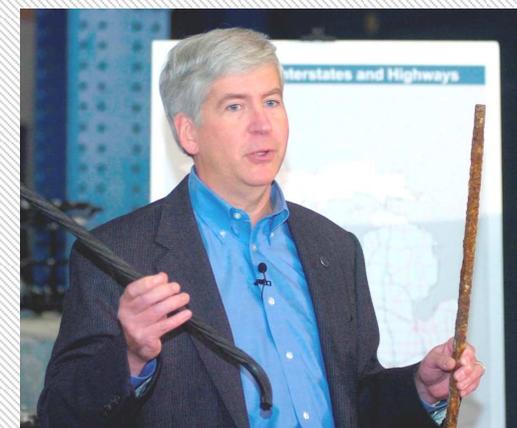
超軽量ケーブルのため、鉄塔のスパンを拡張可能とし、建設資材を大幅削減



②北米事業(土木補強材)

◎ミシガン州、ヴァージニア州、フロリダ州
で納入開始

◎用途に広がり⇒全米への展開を加速



Snyderミシガン州知事が、Lawrence Technological UniversityにてCFCCについて演説

成長エンジンの創出に向けた取組み

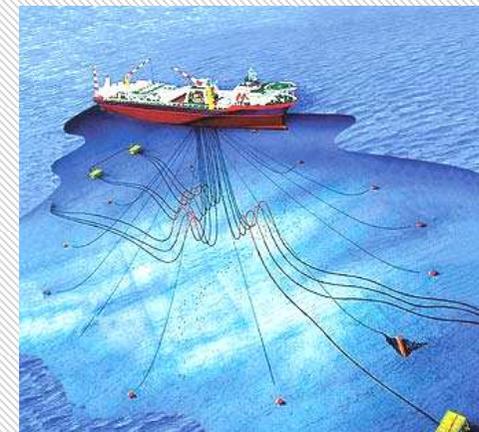
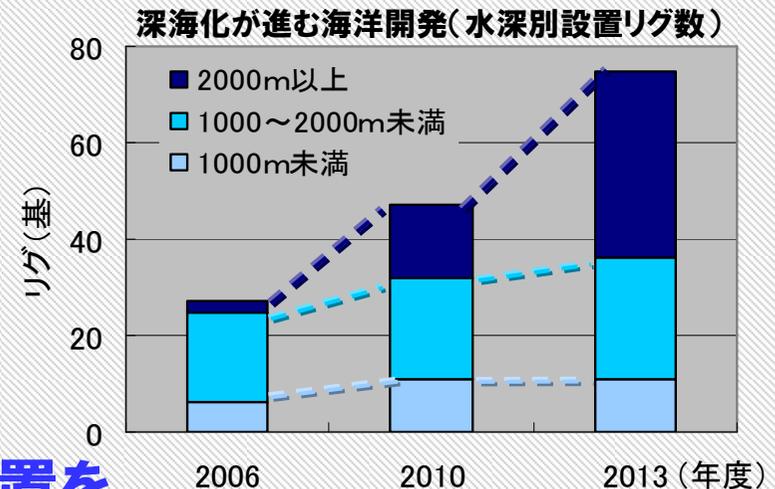
オフショア事業への進出

海底石油・ガス田の深海化



太径・軽量・高強度ロープへの
ニーズの高まり

- ◎東京製綱繊維ロープに太径生産装置を導入、オフショア用試作品を製造（社内評価開始）
- ◎世界規模で市場調査を行い、事業展開を具体化



経営資源投入計画

設備投資・研究開発計画 ～意思決定ベース～

	TCT-I 実績 (11/3～12/3期)	TCT-II 計画 (13/3～14/3期)
設備投資 (投融資を含む)	150億円 (2年間)	60～100億円(2年間)
研究開発	6億円/年	4億円/年

- ・今後の成長戦略を担う商品開発
- ・収益改善案件

継続・厳選して資源投入

配当方針

13/3期：構造改革途上、配当見送り予定

14/3期：中期計画を完遂し、復配当を目指す

年 度	12/3期	13/3期	14/3期
配当（年度当り）	2円50銭	無配	復配
配当性向（連結）	—	—	目標30%

ご注意

- 本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証又は約束するものではありませんのでご了承ください。

東京製綱株式会社

2012年 5月